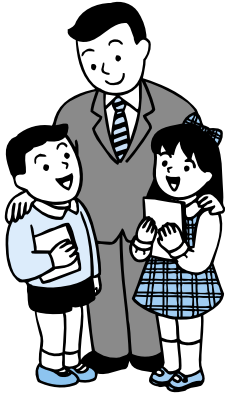


教員の授業外業務の軽減を！

齋藤 誠 議員
(公明党)

◆教員の授業外業務の軽減について

「**授業外業務**としてどんなものがあるのか」といって聞かれることが多く、現在、小・中学校の教員の授業外業務としてどんなものがあるのか、その業務を、少しでも軽減するために、①教育委員会などに関する業務を削減。②教員OBなどの教員サポートの確立。③保護者や地域住民との共同取り組みによる事務作業の緩和。④学校現場へボランティアの受け入れ。⑤学校事務職員の増員。以上、教員が教育活動に専念できる環境づくりが必要と考えるが、いかががお考えか。



教育長 非常勤講師の配置、学校支援ボランティアの導入のほか、事務職員

の配置など事務の効率化も図っている。今後とも、教員が子供たちと触れ合う時間を持てるよう支援に努めていく。

◆教員の精神面でのケアについて

強い不安や悩み、ストレスを抱えている教員が7割近くおり、8割以上が心身ともに疲れている現状にあって、精神面でのケアは、どう充実させていくのか。

教育長 教師が心身ともに健康で教育活動に専念できるよう支援していく。

◆がん対策について

がん検診の実情と今後のがん検診の取り組みは。がん対策基本法に明記されているように、放射線療法等の専門医の育成や、がん患者の療養生活の質の向上のための緩和ケアも積極的に取り入れ、がんを負けないシステムで県をリードしてほしい。

福祉部長 当市のがん検診受診率は、県平均を大きく上回っているが、更なる受診率の向上に努めていく。専門医育成についても国、県に要望していく。

◆はしかの拡大防止について

①はしかの罹患状況はどうか。②就学児童生徒のワクチン未接種の把握は。③予防接種を受けやすい対策は。

学校教育部長 ①平成19年度の状況は小学校5校7人、中学校7校19人である。

②保健調査票の統計では1093人、9・1%である。③予防接種について医師と相談するよう周知している。

一般質問

地上デジタル放送移行への対応は

加賀谷 勉 議員
(公明党)

◆地上デジタル放送移行に伴う対応

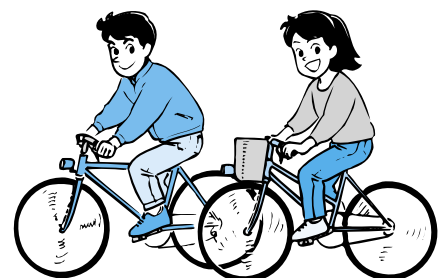
最高品質の映像や音楽を楽しめ、更にネットとの接続も可能な地上デジタル放送。しかし、視聴環境の整備は受信者負担となります。今日まで地上デジタル放送の存在を告知する広報がなされてきましたが、特に一人暮らしや高齢者世帯に対する人的・精神的支援はいかがお考えでしょうか。また、大量に出ると予測されるアナログテレビの適切なリサイクルが行われるための取り組みはいかがでしょうか。

福祉部長 高齢者世帯を訪問する際にデジタル放送に関する情報提供を行うなど、側面的に支援していきたい。

環境部長 家電リサイクル法の趣旨に沿って適正に行われるよう、広報等で市民に周知していく。

◆交通安全について

交通安全対策はインターネットを活用し、市民と行政が情報交換の場を作る市民参加型で実施していくことが交通安全に対する意識の向上につながると思いますが、その後の検討状況はどのようになっていますでしょうか。それから、自転車利用者のマナー向上が



事故防止に大きくつながると考えますが、当市の取り組みと、特に事故の多い高齢者に対する対策はいかがでしょうか。

市民部長 市民参加型の交通安全対策を実施している千葉県鎌ヶ谷市の事例を参考に交通環境の改善に努めていく。また、自転車利用者のマナー向上のため、啓発活動のほか、高齢者も対象に交通安全教室を開催している。

◆ペタンク競技場の設置について

「ペタンク」は、南フランス生まれの誰でも楽しめる国際的なスポーツです。「子供から高齢者まで誰もが身近な所で、気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむことができる機会」の拡充との課題が中期基本計画にありますが、そのような意味からも、ペタンク競技場の設置を要望いたします。

生涯学習部長 普及を図ることが第一であり、まずは身近な公園等を利用していただきたいと思います。

西口整備・介護保険・航空機騒音

猪股 嘉直 議員
(日本共産党)

◆狭山市駅西口整備計画について

①狭山市駅の乗降客は1日4万5千人。所沢駅が9万人強。駅前広場の面積は狭山市駅が7400㎡。所沢市が約5100㎡。なぜ、大きな広場が必要なのか？この駅前広場部分に係る土地代と整備費用はいくらになるのか？
②公民館などの公益施設を駅の真ん前に建てる予定。仮に建て替えが必要でも、なぜ駅前の一等地か？約150m歩いたところに狭山市の土地がある。なぜ、わざわざ高い土地を使うのか？
③西武のステーションビルの全面建て替えも計画。これは事実か？ビル建て替えの部分でも市の負担が発生するのではないか？

◆まちづくり推進部長

①県マニュアルの算定式で求めた面積の最大値を基準に十分検討し、決定したものである。

◆市長

①再開発事業を前提に約71億円と算出している。②にぎわいを創出するためである。③検討中であることは承知している。市負担については、ビルへの自由通路接続による補償のほか、全面的な建て替えの場合には二次的な補償も発生してくる可能性もある。



5つの地域包括支援センター誕生

◆①介護保険の制度改定で、軽度者の訪問介護利用が制限。当市での影響は？また、利用者の声を引き出すよう、事業者などへの指導の徹底を。

②5つの地域包括支援センターの活動開始。地域の中で高齢者や、ご家族などの介護や福祉などについて、総合的な相談に対応していく活動が始まった。スタートして丸2カ月を経たところだが、現時点での評価は？

◆福祉部長

①利用回数の比較はできないが、利用者の意見を把握するように、地域包括支援センターを指導していく。②順調に運営されていると考える。

◆航空機騒音について

現場の教師から朝礼時、騒音で子供の動きが止まると。飛行時間を9時からにしてほしいと。また、入学式、卒業式、運動会時の飛行自粛を！

◆総合政策部長

飛行時間は申し入れていくが、入学式等挙行日については訓練飛行を自粛する旨の回答を得ている。

一 般 質 問

西口計画は見積り書を持ってない？

中川 浩 議員
(無所属)



西口駅前に建設予定の公益施設

①事業費の見積書を市は施行者からもらっていないとのことだが、今すぐもらわなくていいのか？
②280億円ではおさまらないのか？事業費がこれ以上は上がらないことをこれまで確認してきたが、駅舎の建て替え費が上がる可能性があったのはいつか？総事業費は最大何億円上がる可能性があるのか？事業費の概算が分かるのはいつ頃か？
③各公益施設の建設費、平米単価は？私のお聞きした専門家によると『とても豪華な建物単価』になっているとのことだが、建設費の平米単価は、市の方から先に単価設定にしたものではないのか？

いのか？現在の案でやると高くついてしまうのでは？施行者から示された建設費を市として客観的に分析評価していないが今後どうするのか？

④公益施設の土地費

駅の目の前に建設予定の公益施設B棟の土地購入費は1㎡当たり41万3千円としているが、その算定根拠は？現在の土地評価額はいくらか？航空公園・新所沢駅前の土地よりも高い価格で土地を買おうとしていないか？
⑤駅とロータリーを結ぶ橋（ペDESTリアンデッキ）の建設費用は？
⑥商業棟・住宅棟の税金負担額は？

◆まちづくり推進部長

①算出根拠資料については、施行者の都市再生機構が現時点での提示を控えたいとのことである。②平成17年11月にステーションビルの耐震補強が必要ことが判明した。現在、西武鉄道が最終的な検討を行っているが、9月頃には概算事業費と併せて議会に報告したい。③延べ床面積と建設費概算額は1街区が約7000㎡で13億3000万円、2街区が約5600㎡で29億8000万円と予定している。ただし、建設費は調査設計費等を含んだ複合価格になっており、今後、第三者機関などによる評価も視野に入れていく。④土地費も土地整備費等を含んだ複合価格になっているが、その内訳は譲渡契約に向けた作業の中で明らかにしていく。⑤約20億円を見込んでいく。⑥実施設計に基づき、国、県及び市補助金等の額を試算していく。

狭山市駅西口事業・ 公有地取得

田中寿夫 議員
(無所属)

◆狭山市駅西口事業について

西口の総事業費が280億円を上回らないとしてきたが、現在もその通りか。また、当初計画のホテルや大型スーパーの誘致が見込めない。どこが最少の経費か。これで最大の効果が上がる根拠を示せ。

市長 現時点においては、総事業費を変更すべき確たるものがない。

◆公有地取得について

①今回の用地取得は緑のトラスト保全が主な目的。沿道開発の恐れのある東京狭山線隣接の土地が優先ではないか。用地取得の予定内の区域に、某代議士親族名義の土地が含まれているのは偶然か。

②富士見1丁目3025の1の生産緑地を買い取り希望価格約2億8258万円で平成9年に狭山市が取得している。土地の約3割が都市計画道路予定地だが、全部を買い取る必要があったのか。所有者が某代議士親族の共同名義であったのは、偶然が重なったのか。③半年後、隣地の土地所有者の代理人から狭山市に対し土地買い取りの申し出があり、財政上無理があるとの意見

を押さえてまで先行取得を行ったのはなぜなのか。買い戻し期限に買い戻さないのはなぜか。公社の土地がなぜ狭山市名義で登記されているのか。

この土地で税の減免を受ける申請書は「畑」で、不動産鑑定を受ける場合は「雑地」としている。その都度、地目の変更したのはなぜか。

◆建設部長

①道路開通に伴う開発行為で緑地の消失も心配されるが、県では環境共生道路としての方策を検討していると聞いている。また、保全区域は公の利益を追求するため、県等と協議する中で決定したものである。

◆総務部長

②平成9年取得のため、鑑定評価書は処分されているが、評価をもとに取得していると認識している。

◆市長

③都市計画道路の計画にある土地であることなどから土地開発公社が取得したものである。買い戻しには、財政状況を勘案し努力していく。また、登記手続きは公社が行ったものである。



問 質 般

日本一の救急医療体制 をつくらう

新良守克 議員
(志政会)

◆夜間・休日小児医療体制

市内の夜間・休日医療体制の現状は、近隣市合わせて1週間のうち3日しか対応できる病院はない。特に子供の病気が夜間に悪化しやすく、他市の病院へ向かう患者や家族の思いを考えると、夜間・休日小児医療体制は市の優先課題ではないか、ご見解は。

◆市長

夜間・休日小児医療体制の維持のため、所沢保健所が防衛医科大学校病院、西埼玉中央病院に協力要請を行っているところである。また、県が6月下旬から、小児救急電話相談事業を実施予定であり、これについても積極的に周知していきたい。

◆急性期担当病院の拡充

市内には急性期に緊急を要する重症患者を受け入れられる担当病院が少ない。365日24時間安心できる医療体制があつてこそ、明るい社会がつけられるのではないか。高齢社会に向けた今後の病院拡充についてのご見解は。

◆市長

高度な救急医療と専門性を必要とすることから、保健所を初めとする関係機関と協議していく。

◆AED設置への助成制度



何十年と一向に伸びない救命率を考えると市民に安心した生活はないと思います。AED(自動体外式除細動器)が設置されていれば救命できた可能性が多々あります。AED設置への助成制度を設け、事業所や店舗・施設等への設置促進を図り、日本一救命率が高い狭山市を構築してはいかかか。

◆市長

助成制度については検討課題と考えているが、まずは商工会議所等を通じ、AED設置を呼びかけていく。

◆狭山市駅前開発予定地への病院誘致

駅前開発予定地に病院を誘致することで、学生、会社員の方々が学校や会社帰りに受診できるという利便性が期待できるほか、駅前から病院、商店街へと人の流れをつくり、活性化も見込めます。人に優しく、暮らしやすい街づくりを期待しますが、ご見解は。

◆市長

都市再生機構が商業棟に医療機関の導入を進めており、市民の安心に通じるものと期待している。

公園の整備を通じて 地域再生を！

小谷野 剛 議員

(志 政 会)

狭山市には智光山、稲荷山、入間川河川敷、赤坂の森に大規模公園が他市に比べても、数多く整備され、多くの市民に愛されてきた。今後は子育てから防災の面に至るまで多様化する市民ニーズへの対応が求められている。

◆量的、質的環境の充実を！

量的整備については、振興計画上の目標値に対して、どのような状況にあるのか。また、市全体を見ると日常的な公園の利用者である高齢者や子育て世代の皆さんが歩いて行ける距離にある公園は地域バランスを欠いているのではないかと。財源的な措置も含めて特



段の配慮が必要だと考えるが。

質的整備については、現在の街区公園は極めて画一性が高く、個性に欠ける。地域の特性や少子高齢化など様々な要因に対して機能の充実を図るべきと考えるが。

建設部長 平成19年度から22年度までの計画では、8カ所、約4万㎡を整備予定で、面積では振興計画上の目標値を上回る計画である。公園に対するニーズは、子育てや高齢者の憩いの場であること、コミュニケーションの場であることなど多様化している。今後、社会動向、住民ニーズを的確に把握しながら、公園の在り方を見出し、いく

必要があると考える。

市長 豊かな人間性を育み、特に子供たちに夢を持たせる施策の一つとして公園整備に取り組んでいきたい。

◆市民力を生かして公園の再生を！
遊具や樹木、トイレ、公園に対するコンセプトなど時代の変化とともに市民要望は変わっている。公園の改修、整備に当たっては計画段階より、地域の実情や市民の声を十分に反映できるような新たな仕組みづくりはできないか。団塊の世代や新住民の力を合わせ、まちづくりを進めることができれば地域に活力を与えると考える。

建設部長 公園整備には計画段階から市民の声を反映していく方法を具体化していく必要がある。今後、可能な限り地域住民の声を聞き、市民が利用しやすい公園づくりに努めていく。

必要がある

一 般 質 問

不老川の無名橋の 改修・拡幅を

中村正義 議員

(志 政 会)

◆無名橋の改修・拡幅について

本年度、不老川には西武新宿線架け替え、草刈り橋、通学路橋、権現橋の架け替え等が県で予算付けされた。

更に、市道B300号線の無名橋と県道入曽橋との間の左岸の堤防のかさ上げが計画されている。そうすると、この無名橋が冠水する恐れがある。特別緊急事業の一つとして改修・拡幅工事を県に強く働きかけるべきと思う。

また、この無名橋は3m未満と狭く非常に危険なため、地元自治会より前から改修・拡幅の要望の出ている橋であり、市単独でも工事をすべきと思うが、どうか。なおまた不老川には無名橋が多く不便を感じる。「不老川をきれいにする会」でも名前を付けることを提案しているが、見解は。

建設部長 県は無名橋に影響があることがあれば、その時点で検討することだが、市民の不安解消を図るために積極的に要望活動を行っていく。

市長 市負担で工事実施する場合も、県計画との整合性が必要になることから、橋架け替えの必要性も含め、県と十分協議していく。橋の名前について

は、市民に親しまれる名称がつけられることを望んでいる。

◆障害者医療について

障害を持つ方も定期健康診断などを受診できるような環境が整っているか問題になってくる。その実態の把握ができていないのではないかとと思う。

健康診断の問題や通院問題、更には入院問題等について、市として調査し、実態を把握する中で、どう実施していったらいいのかといった対応策を考

えることが、障害を持つ方々のための真の地域医療体制の確立の第一歩ではないか。積極的に推進していくことが必要と思うが、見解は。

市長 受診状況の把握は十分でないと思

認識している。今後、実態把握に努め、受診環境についても研究していく。

福祉部長 受診しやすい環境づくりや健診方法等を障害者団体で構成される連絡会や医師会で協議していく。

